

第105回定例研究会

10月16日(金)

於:静岡県評会議室

韓国経済発展論 - 高度成長の見えざる手

報告者: 朴根好 (パク・クンホ) 氏 (静岡大学 教授)

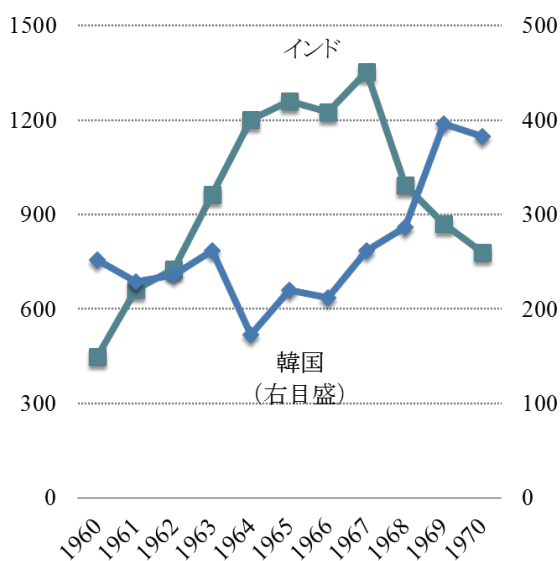
高度成長と「朴正熙」論

韓国では、1960年代後半に高度成長が行われました。この時代は朴正熙大統領による独裁政権の時代でした。2011年の世論調査で「最も高く評価する大統領」の1位は朴正熙で45%という圧倒的に高い評価を得ています。そして朴正熙元大統領の評価理由のうち、70%が「経済発展」と答えています。多くの国民は、韓国の高度成長が朴正熙元大統領のリーダーシップによって、もたらされたものと思っていますが、しかし実際は、アメリカの安全保障に基づき経済援助が、重要な役割を果たしました。

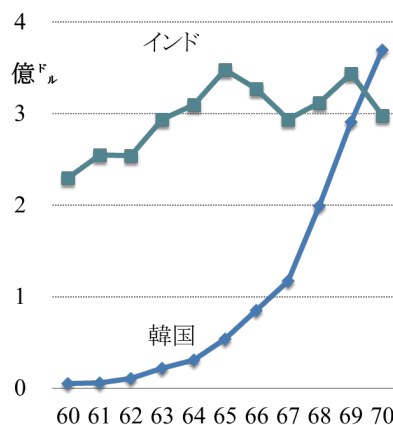
インドの工業化停滞と「漢江の奇跡」

1960年代前半までは、インドが経済成長を行っていましたが、1965年を境に停滞します。アメリカによる経済支援がインドから韓国にシフトしたことが大きな要因です。

・先進国からの経済援助額 (100万ドル)

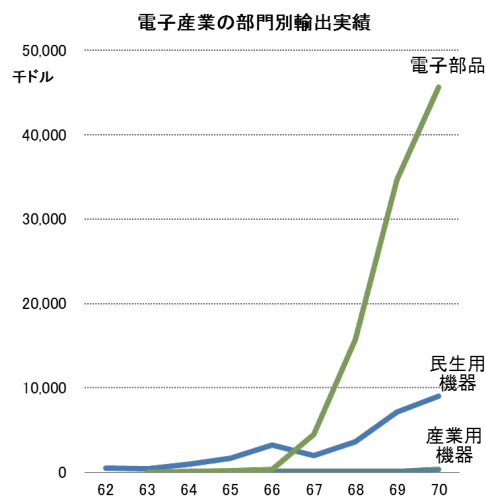


・アメリカの輸入



電子産業の政策なき成長

電子部品の輸出が急増しますが、これはアメリカのパテル記念研究所が韓国産業の振興を行ったもので、韓国政府の政策にはなかったものでした。



米国家安全保障と「ショーウィンドウ戦略」

1. アジア共産国と日本との間に緩衝地帯を維持する
2. 非共産主義国家のモデルケースとして証明する
3. 同盟国支援に対する貢献と信頼性を実証する

* 連絡先: 静岡県労働研究所 TEL 054-287-1293 FAX 054-286-7973
 〒422-8062 静岡市駿河区稲川 2-2-1 セキスイハイムビルディング 7F (静岡県評内)
 メール roudouadv@wave.wbs.ne.jp ホームページ <http://www.geocities.jp/shizuokarouken/>